



# 人と環境にやさしい社会をめざし、 商品開発や教育活動をはじめ 様々な取り組みを展開します。

三信化工は、食と健康を楽しむ心豊かな暮らしのために、  
環境への負荷の削減を考え、環境保全に全社で取り組んでいます。

その一つとして、2005年に給食食器業界で初めて

ISO14001:2004（環境マネジメントシステム規格）の認証を千葉工場（現・成田工場）にて取得しました。

今後も給食食器の製造を通じて、持続可能な社会を構築し、  
人と環境にやさしい商品の開発・提供につとめてまいります。

パブリック箸、パブリック・トレイ、パブリック強化磁器は、環境にやさしい商品としてエコマーク  
を取得しています。

## 環境への取り組み

2003年 ■ バイオマスプラスチック製食器を開発、農林水産省食堂にて試験使用される

2004年 ■ R-PP樹脂製の「パブリック・トレイ」（エコマーク認定商品）を発売

2005年 ■ 「愛・地球博」のリターンナブル食器としてバイオマスプラスチック製食器が採用され、レストランコーナーで使用される  
■ R-PEN樹脂製の「パブリック・トレイ」、強化R-PEN樹脂製の「パブリック箸」（エコマーク認定商品）を発売  
■ 千葉工場（現・成田工場）にてISO14001:2004の認証を取得

2006年 ■ バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」を発売

2007年 ■ バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」の耐久性に優れたシリーズを発売

2008年 ■ 強化R-PBT樹脂製「パブリック箸」（エコマーク認定商品）、生産時にCO<sub>2</sub>排出量の少ない強化磁器「セラクレス」を発売  
■ 「繕い（つくろい）」が、2008年度グッドデザイン賞、第2回キッズデザイン賞を受賞

2009年 ■ 経済産業省が主幹のカーボンフットプリント算定・表示試行事業、「商品種別算定基準（PCR：Product Category Rule）」づくりに参画し、食器（陶磁器製品および合成樹脂製品）の算定ルール認証を受ける（認定PCR番号：PA-AQ-01）

2010年 ■ 食器業界初のカーボンフットプリント（CFP、CO<sub>2</sub>排出量表示）の使用が許諾

- 日本初の「1回使用あたり」におけるCO<sub>2</sub>排出量表示が、CFP試行事業において使用が許諾される
- 環境対策強化磁器「ミニクローバー」発売、CO<sub>2</sub>削減を実証

2011年 ■ 日本初のCO<sub>2</sub>「削減率」表示が、CFP試行事業において使用が許諾される

- 自社自身によるCFP表示が可能な企業として認証を受ける（経済産業省システム認証実証実験）
- 第8回LCA日本フォーラム表彰 奨励賞受賞  
三信化工が連名で取り組む環境教育事業での受賞

2012年 ■ E-エポカル全製品においてCO<sub>2</sub>排出量を表示（CFPシステム認証による）

- 第14回グリーン購入大賞 優秀賞受賞  
三信化工が連名で取り組む環境教育事業での受賞

2013年 ■ 第4回キッズワークショップアワード 審査員特別賞受賞

- 三信化工発のワークショップ「われたらばする」が、「エコが見える学校」の取り組みにおいて受賞

2014年 ■ 国内2番目の環境教育等支援団体として、三信化工が参画する「資源と環境の教育を考える会『エコが見える学校』」が指定される（文科省および環境省、環境教育等促進法）

2015年 ■ 食と文化を通じた環境への取り組みが、月刊『学校給食』に、特集記事として取り上げられる

- 「エコが見える学校」…三信化工が展開する食・文化・環境の活動が、環境省の家庭環境強化推進事業の調査モデル事例となる

2022年 ■ 取り組み継続中